

学生による授業評価の結果等からの検証 —共通教育「デッサンの世界」5・15週目アンケート等を踏まえて—

■ 土井原 崇浩(教育学部)

キーワード：デッサン、授業評価、アンケート、美術教育

はじめに

この共通教育授業「デッサンの世界」は、デッサンの基礎から応用までを学び、作品制作への知識や技法を習得することをテーマとしている。本授業回数は15回である。授業シラバス¹は本稿後半に明記している。

本授業は4つの課題²で構成され、1.「グラデーション」図1)初級、2.「卵を描く」図2～4)初級・中級、3.「巨匠作品の模写」図5～8)中級・上級、4.「人体の一部を描く」図9～12)上級・最上級までを半期の授業15回で一気に熟す内容である。初心者は半数程度(初日のアンケート結果から判明)であるが、無理なく毎回の課題をクリアできるよう個々のオーダーを踏まえて操作している。受講生の誰もが、アカデミックに描けるようになることを前提に、課題・授業計画を立てている。正しく的確な内容を順番に受講生へ伝えてさえ行けば、短期間でもデッサン力は確実に身につく。但し、個々対応となるため、指導時には慎重さと大胆さが随時求められる。

授業科目の到達目標等が達成されているか等、授業改善に向け、授業評価5・15週目アンケート等を用いて分析した。

I. 共通教育5週目アンケートについて

5週目アンケートは2019年11月7日(木)3時限目を実施した。用いたアンケートは、「共通教育「デッサンの世界」5週目アンケート(回答理由選択肢式)」である。各質問項目(点数の内訳:はい5点、どちらかというとはい4点、どちらともいえない3点、どちらかというといえ2点、いいえ1点)の平均点(四捨五入)と全体の平均点(四捨五入)は下記になる。また、項目ごとの回答理由(①～⑦)と優位な回答(原文ママ)及び自由記述(原文ママ)を記述し分析した。

■共通教育「デッサンの世界」5週目アンケート (回答理由選択肢式)

【全授業共通質問】

- (4.8点) ③③③①③①③③③③②①
③受講生の関心・興味に合うが優位
- (4.4点) ③①③③②③④①③②③②③②①
③受講生の反応を見ながら授業を行っているが優位
- (4.8点) ④①②③⑤②①②③④⑤⑥①①②③
①②③④⑤⑥③①①①
①授業の目的・目標を明確が優位
- (4.5点) ④④①③④⑥①③③④⑥④②②①
④質問に対して丁寧に答えるが優位
- (4.5点) ①③③①①①③①④①①

①授業を良くするための工夫や熱意が見られるが優位

6. (4.7点) ○改善要望なし

- ・個人個人に合ったスピードでアドバイス下さる。
- ・教員の授業の仕方が非常に自分に合っている。授業を受けていて楽しい。
- ・満足しています。
- ・先生は優しいし、内容も面白いです。
- ・丁寧な説明を分かりやすい解説、的確なアドバイスがあるため。
- ・自分の能力や既存の知識ではおぎないえない部分をアドバイスで手助けしてくれるので、有意義な時間だと感じられるから。
- ・とても楽しいし、アドバイスも適切。自由に個人のやり方を進めさせつつ、技術的要素、知識などを共有してくれる。
- ・自分のできていない所を優しく丁寧に教えてもらえるため。
- ・自分が思いえがいていた授業そのものだから。

○改善要望あり

- ・授業自体はとてもおもしろく、多くの知識を得られるから。ただ、あまりに時間が足りないので、半分以上の作業が家でのものになってしまう。

【授業別の質問】

- ① 1. (4.8点) 質問：授業終了前のお互いの作品鑑賞は良い影響を及ぼしているの、今後も継続する。
- ② 2. (4.3点) 質問：初回授業でアンケート「この授業で学びたいことは？」の希望が叶っていますか？

*全体の平均点：4.6点

【自由記述】

○改善要望なし

- ・最初は自分がこの授業を取って大丈夫か心配であったが、一人一人のレベルに合った描き方を教えて下さるので、心配なく、自分の作品を作ることができるので、とても良い。今までの作品を見れたので、

とても参考になる。

- ・良い点は、先生はまじめでやさしいです。
- ・初心者でも分かりやすく、コツやポイントの伝え方が分かりやすく楽しく授業を受けさせて頂いています。改善すべき点は特にないと思います。
- ・アドバイスしてくれる回数が多い。
- ・お手本の絵やクラスメートの絵を見ることで自分の絵の参考にすることができるのが良い点だと思います。
- ・時間はかかるうえ、体力的にも精神できにもなかなか大変ではありますが、それでも描き終えた時の爽快感や友達にほめられた時に込み上げてくる嬉しさは他には変えがたいものだと感じました。もっと練習をして上達していきたいです。
- ・他の方が描いた作品と自分の作品を混ぜて、見るのがとても良い影響になりました。自分の悪い点がよく分かりました。だからといって、自分の作品の評価が自分の中で下がったわけではないです。かなり力を入れて描かせてもらったからです。ちょっと手を加えただけで、作品らしい作品へと仕上がっていく感覚が味わえて本当に良い経験となりました。ありがとうございます。
- ・ハンカチの生地と影の違いを作るのがむずかしかった。逆光の入れ具合の調整がしづらい。デッサンにおいて、対象の物を、「見えるとおりに描く」べきなのか「きれいに描く」べきなのかが分からない。

○改善要望あり

- ・1つ1つの課題に対する授業量を増やしてほしい。

5週目アンケート集計結果は、各質問及び全体の平均点(4.6点)は高い数値となった。自由記述からも授業満足度は高く良好と考えられる。しかしながら、全授業共通質問2、授業別の質問2と改善要望を踏まえ見直す必要がある。

Ⅱ. 第6週目アクションプラン

アクションプランは2019年11月11日(月曜日授業)3時限目の授業初めに告知した。

1. 今後の授業においても丁寧な説明を欠かさず、個々に合った指導を行う。
2. 楽しい授業となるよう、知的好奇心を保って頂くようにする。
3. 授業終了前のお互いの作品鑑賞は良い影響を及ぼしているの、今後も継続する。
4. 授業初日アンケート「この授業で学びたいことは？」のご希望に叶うよう授業を行う。

告知の追加説明として、自宅作業（改善要望あり）に触れ、コメントした。「なるべく自宅課題とならないよう、授業内の制作配分を工夫する。但し、シラバスには時間外学習が謳われており、勉強を身に付けるために、復習としての自宅学習をお勧めします。」

授業課題は設定しているが、スケッチブックにモチーフを描く大きさや難易度は常に各自が設定できるようにしている。改善要望から、受講生本人（特定できず）の作品完成までの計画に甘さが窺える。欲が多すぎるために、自宅作業時間が増えていると思われる。6週目以降の授業内で時々、受講生全員へ向け、作品完成までの無理のない計画を練るように勧め、周知した。

Ⅲ. 共通教育15週目アンケートについて

15週目アンケートは2020年2月3日（月）3時限目に実施した。用いたアンケートは「共通教育「デッサンの世界15週目アンケート(回答理由選択肢式)」」、「共通教育「学生による授業評価アンケート」」、「Reflective Monitoring」の3種である。各質問項目(点数の内訳)の平均点及び全体の平均点の求め方は、上記Ⅰ.の方法を取り入れ、集計結果は下記となった。また、項目ごとの回答理由(原文ママ)も記述した。

■共通教育「デッサンの世界15週目アンケート

(回答理由選択肢式)

【全授業共通質問】

1. (4.9点)③①③③③①③③③③①①③
③授業内容が受講生に関心・興味に合うが優位
2. (4.8点)②③③③①③③④①②③②①②
③受講生の反応を見ながら授業を行っているが優位
3. (5.0点)①②③④③①③⑤②①②③④①②④②①

④②①④

①授業の目的・目標を明確にしているが優位

4. (4.8点)③④③④③④⑤③③④⑤⑥④①③④①③
③学生の自主的学習に対する助言や支援をしているが優位
5. (4.8点)①②③③①②③①①②③③②①③①③
③学生に対して授業を良くするために「皆さんは～～して欲しい」といった努力を求める要求をしているが優位

6. (5.0点) ○改善要望なし

- ・先生の1つのアドバイスで大きな工夫ができて、すぐに自分の作品レベルが上がるのが楽しめたから。
- ・一人一人に合わせた教育。
- ・毎回アドバイスをもらえる。
- ・基礎からしっかり学ぶことができたから。
- ・自主的学習を促し、雰囲気がいいです。
- ・楽しかった。
- ・楽しく、デッサンの知識を得ることができたから。
- ・初めて美術にこうして取り組むという人が多かった(私も)ので、基礎的なものが多くて良かった。
- ・デッサンに興味をもつことができたから。
- ・初学者でも分かりやすく十分だと思う。

小計(平均点):4.9点

【授業別の質問】

1. (4.3点)

【学生の諸能力の獲得(授業達成目標の達成)】

1. (4.4点)
2. (4.5点)
3. (4.5点)

【授業改善アクションプランの効果】

1. (4.6点)
2. (4.6点)
3. (4.5点)

*全体の平均点:4.7点

【授業改善アンケートの効果と負担】

1. 受講生全員が質問に対して無記入であったため、記入事項は無い。
2. 受講生全員が質問に対して無記入であったため、記入事項は無い。

【自由記述】

- ・自分が描いた作品を1つの「作品」として見てもらえることで、真剣に取りくめた。授業の環境がとてもよかったから。
- ・配布資料や話で絵を描くことに興味をもてた。
- ・非常に分かりやすい説明で、これまで自分が知らなかった絵の描き方を沢山知ることができ楽しかったです。正直、後期の講義の中で一番好きでした。
- ・目のデッサンで、スマホを利用した時に、絵をスマホと比べて均等になるように工夫した。
- ・白黒スケール（+乾/湿）からはじまった点がとても嬉しかった。
- ・デッサンの技法についてくわしく教えてもらったので、この講義をとって良かったと思う。一つの作品にもう少していねいにする時間が欲しい。
- ・今回、巨匠の模写に挑戦してみて、思ったことは2つです。1つは模写は前回の課題と違って平面のモノを見て描くので立体感を意識するのが難しいと思いました。もう1つは、作品を通して自分の気持ちを表現することができるなと思いました。私自身がとても口下手なので、絵をいう視覚に訴えることができる手段は自らを表現する1つの新たな手段でもあるのだということに気がつきました。
- ・最初、線はただまぜて、明暗関係を出したと思いましたが、描きながら、線は順に並んで質感も出したと発見しました。どこにどんな線を使うかって作家はよく分かって、すごかったです。遊んだみたい線も合理だったんです。

■共通教育「学生による授業評価アンケート」

1. 全授業共通の質問
 1. (4.8点)
 2. (4.8点)
 3. (4.8点)

4. (3.0点) 質問：授業の進み方や内容量は、あなたにとって適当ですか

①速すぎる・多すぎる ③適当 ⑤遅すぎる・少なすぎる

であり、平均点3.0点は満点と考えるが、他の各質問は最高得点5点である。そのため全体の平均点を求める時に、質問4の平均点3.0点は含ませていない。

5. (4.3点)
6. (4.6点)
7. (4.7点)
8. (4.8点)
9. (4.2点)
10. (4.5点)
11. (4.5点)
12. (5.0点)

*全体の平均点：4.6点

質問4平均点：3.0点（満点）

2. 授業分野ごとの質問、3. 個別授業ごとの質問は、上記の■共通教育「デッサンの世界15週目アンケート（回答理由選択肢式）アンケートとの重複感と更に質問項目が多くなり、学生負担から取って省いた。

4. 自由記述

- ・教師が優しいです。雰囲気がいいです。
- ・配付資料や話がおもしろかった。学生それぞれに合った指導がされていてよかった。
- ・物をよく見ることの大切さを学ぶことができました。長さや形や色、どれもむずかしいです。もともと絵を描くことに対してコンプレックスがありましたが、ちゃんと手順を踏んで教えていただけたことで、何をすべきかわかることがうれしかったです。絵はかくときに対象をみればみるほど対象が深く感じて普通と違う時間の流れかたがあり、不思議でした。
- ・とてもよい経験となりました。

■ Reflective Monitoring

1. (3.8点)
2. (4.1点)・目的等説明してもらったから。
 - ・その都度先生がアドバイスをくれたため。
 - ・どの授業でもあまり意識する必要はないと思っている。
 - ・絵が上手になりたいという意識で取り組めた。
 - ・意識せず作品へ素直に向かっていたように思う。
3. (3.2点)
4. (4.4点)・授業外でもスキルを使いたいと思った。
 - ・授業中のアドバイスを参考にしながら自分でデッサンを進められた。
 - ・必要だった。
 - ・授業外にも作品に取り組むことで、どんどん上達した実感があった。
5. (3.2点) 質問：あなたにとってこの授業の難易度はどの程度でしたか？

⑤とても難しかった ④難しかった ③どちらともいえない ②易しかった ①とても易しかった であり、平均点3.2点は高得点と考えるが、他の各質問の得点付けと異なるため、全体平均点を求める上で含ませていない。

 - ・1人1人のペースに沿った授業だったから。
 - ・上手く表現しきれない部分もあったため。
 - ・最初は簡単なものから始めて徐々に難しくなっていったため。
6. (4.3点)・参考になった。
7. (4.2点)・ちょうど良かった。
 - ・資料の配付などが良かった。
8. (4.5点)・ちょうど良かった。
 - ・デッサンも楽しかった。
9. (4.3点)・満足できた。
10. (4.3点)・レベルアップできた。
11. (4.5点)・最後までできた。

12. (4.3点)・学びたいことが学べた。
13. (4.7点)・いろいろな描き方を学べた。
14. (4.6点)・ちょうど良かった。
15. (4.7点)・とても楽しかった。

*全体の平均点：4.3点

質問5 平均点：3.2点(ほぼ満点)

16. 自由記述

- ・とても楽しかったです。あまり絵を描くことがなかったのですが、これから授業外でたくさん絵を描きたいです。ありがとうございます。
- ・満足できた。
- ・毎回とても楽しい授業でした。羽ペンなどの体験も初めてで、良い経験だったと思います。作品を見ても自分で少し上達したと思うほどで、成果が出ることでより意欲を持って取り組めたと思います。
- ・楽しかったです。いい勉強になりました。
- ・絵は得意ではなかったけど、好きだったので、テキセツなアドバイスや、ちょっとしたこともほめて下さって、授業が受けやすかったです。皆さんの作品もどれも個性があり、見飽きなかったです。授業最後に皆の作品を見るのもかなり勉強になりました。1学期間ありがとうございました。
- ・最後まで楽しく作業に取り組めて良かったです。
- ・この講義で私は、デッサンの技法を学びとることができた。手を扱ったデッサンを書いたのだが、手は見れば見るほど不思議な形をしていることが分かったが、これもデッサンをしなければ気がつかなかったことだろう。

IV. 結果

共通教育「デッサンの世界5週目アンケート（回答理由選択肢式）」と「共通教育「デッサンの世界15週目アンケート（回答理由選択肢式）」を比較した場合、5週目の全体平均評価（4.6点）よりも15週目の全体平均評価（4.7点）は更に上昇している。15週目の回答の理由では「一人一人に合わせた教育」、「毎回アドバイスをもらえる」、「楽しく、デッサンの知識を得ることが

できたから」。また、自由記述の感想では「自分が描いた作品を1つの「作品」として見てもらえることで、真剣に取りくめた。授業の環境がとてもよかったから」、「非常に分かりやすい説明で、これまで自分が知らなかった絵の描き方を沢山知ることができ楽しかったです」等があった。話は変わるが、質問事項の【授業改善アンケートの効果と負担】について、なぜか受講生全員が無回答であった。今後、質問項目として検討する必要があると感じた。

共通教育「学生による授業評価アンケート」の全体の平均点は4.6点と高い水準となっている。自由記述の感想では「配付資料や話がおもしろかった。学生それぞれに合った指導がされていてよかった」、「とてもよい経験となりました」等があった。

Reflective Monitoringの全体の平均点は4.3点であり高い水準である。回答の理由には「授業外でもスキルを使いたいと思った」、「授業外にも作品に取り組むことで、どんどん上達した実感があった」、「満足できた」。また、自由記述の感想では「作品を見ても自分で少し上達したと思うほどで、成果が出ることでより意欲を持って取り組めたと思います。」、「最後まで楽しく作業に取り組めて良かったです」、「手は見れば見るほど不思議な形をしていることが分かったが、これもデッサンをしなければ気がつかなかったことだろう」等から、上記3種類の15週目アンケート結果を総合的に捉えると、授業満足度はとても高評価であると云える。授業時間外学習については、各々が計画性を見直し解消され、制作に向かう姿勢がより高まり、充実した作品完成群となった。

V. 考察

本授業は15週間に及ぶ授業であり、長い期間モチベーションを高く保ち続けなければならない。これは教員と学生共にいえることであろう。思うに授業初日は学生の授業期待値やモチベーションは最も高く、初日のガイダンス次第で、既に評価は定まるであろう。

筆者の場合、学生の自己紹介時に少し工夫し、お題として「今まで不思議なものを見たことがある」「不思議

な夢を見たことがある」「不思議な体験をしたことがある」等を自己紹介に交えるようにしている。各自の回答後、必ず類似した筆者の体験談を話し、共感や理解を得るようにしている。授業初日が肝心で、その後(2週目以降)の授業は自由自在に机間指導に入り、常に平等で丁寧な指導を心掛けている。

作品講評は課題数と同じ4回であった。その毎回、作品を一堂に並べ作品講評を行う。各受講生が自らの作品について感想を述べ、そのあとで筆者の批評を加えた形とした。受講生が自らの作品について語るとき、作品を相対的・客観的に見ることでダニング=クルーガー効果(能力不足の人が能力を高く評価)が避けられる。作品講評後、受講生には個々の振り返りアンケートを作成させ、提出させた。このことは、メタ認知を高める効果があった。

授業進行中に受講生全体の性格や雰囲気や正確に掴み、その受講生たちをしっかりと目標へ導くルールに乗せるため、あらかじめ用意していた授業内容の幾つかを更に選別しつつ授業を進める。このことが教室内に高揚感をもたらし、筆者に余裕や楽しみ・面白さをもたらす。その場の雰囲気やニーズに合わせた指導が良い効果となったのであろう。

15週間の授業は1回のみ講座(放送大学・教員免許更新講習等)と比べれば、遥かなる道のりである。筆者の個人的な授業経験から、放送大学授業や教員免許更新講習では、今日まで受講者平均点の満点を数回得ている。その内訳は放送大学授業2回(4点満点)、教員免許更新講習3回(5点満点)の合計5回である。これらは1日開講授業ではあるが、授業準備に多くの時間を割き、必要十分な用意を周到に行ってきた。授業当日の朝まで予定調和を意識しつつも、自分自身がそれでは仕事(授業)を楽しめないと考え、予定調和させない授業展開を取り入れた結果が満点となっている。毎回、周到に準備した内容全部が、授業内で消化しきれてはいないが、受講生の授業満足度は満点となることがある。

15回授業においても、工夫・改善すれば授業評価満点の可能性はあると考える。前述やアンケート結果

にあるように①授業初日は学生の授業期待値やモチベーションは最も高いため、初日のガイダンス次第で、既に評価は定まるということ。②机間指導は常に平等・丁寧を心掛けること。③オーダーメイド・セミオーダー課題からフロー体験へ ④毎回の授業ごとに多くの時間をかけた必要十分な授業準備をし、予定調和させない授業展開も活用（指導者の楽しみ・面白さ）してみること。加えて、⑤学生への感謝の気持ち（「ありがとう」）を忘れないこと。⑥授業では受講生の満足ではまだ足りず、感動に導くような創意工夫をすること。

おわりに

授業は全般的にとっても好評であったと云える。授業に参加した学生は常に真摯な態度であり、制作に直向きであった。質の高い授業にするための授業参加態度や制作に必要な素養を兼ね備えた学生たちに、心から感謝を述べたい。今後、受講生たちにとってこの授業で得た知識・能力や集中力・忍耐力が、他の専門を学ぶ場においても発揮できるよう願っている。

謝辞

本論文の授業アンケート結果等を用いて令和元年度高知大学教育奨励賞に応募し、結果として受賞させて頂いた。本選考にあられた諸先生方に心からお礼申し上げます。本受賞に恥じぬよう今後も教育の質の向上を目指し、精進致す所存である。

1. 授業シラバス

2019年度 授業題目 デッサンの世界

申請コード02012 単位数2

授業種別 演習 履修開始年次 1

履修期間 第2学期 時間割 月3

区分等 平成20年度以降入学生

共通教育) 教養科目人文分野

履修における注意点 定員15名まで。汚れても良い服装。

【テーマ(日本語)】 デッサンの基礎から応用までの知識や技法の修得等。

履修希望学生に求めるもの 表現意欲、物を見つめる誠実な態度。美術、デッサン、絵画

カリキュラムチェックリスト

【授業科目の主題・目的(箇条書)】

1. 対象を凝視し、形態の構造を理解する。
2. 対象を平面に的確に描写する。
3. 観察力、判断力、表現力を養成する。
4. 映像メディア表現から写真模写をする。

【授業科目の到達目標とカリキュラムチェックリスト】

授業科目の到達目標	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度等	技能・表現
1. 素描の基礎的な造形を学び、理解できるようになる。	◎	◎	◎		◎
2. 鉛筆による陰影法等を思考するようになる。	○	◎			◎
3. 必要に応じて文献及び資料を収集し、活用する意欲を持つようになる。	○		○	○	○
4. 素描制作に集中し、直向きな姿勢や態度を持つようになる。	○		○	◎	○
5. 素描に関する技能を適切に身に付け、活用できるようになる。	○	◎	◎	◎	◎

授業全体の概要 デッサンの基礎から応用までを体験する。

授業時間外の学習 授業内の作品制作の遅れは自宅課題として補うこと。

授業計画

○第1回授業概要 ガイダンス。用具及び材料の説明。この授業では、デッサンの基礎から応用までを体験する。対象を凝視し、形態の構造等を理解した上で、それを平面に的確に描写して行けるようになり、観察力、判断力、表現力を養成する。巨匠が描いた素描の模写も行なう。

評価のスケジュール 第8回と第15回に作品講評と採点。

- 授業時間外学習 授業内の作品制作の遅れは自宅課題として補う。
- 第2回授業概要 グラデーションを学ぶ。(第2回～第3回まで)
- 評価のスケジュール 第8回と第15回に作品講評と採点。
- 授業時間外学習 授業内の作品制作の遅れは自宅課題として補うこと。
- 第3回授業概要 グラデーションを学ぶ。(第2回～第3回まで)
- 評価のスケジュール 第8回と第15回に作品講評と採点。
- 授業時間外学習 授業内の作品制作の遅れは自宅課題として補うこと。
- 第4回授業概要 卵を描く(第4回から7回まで)。特に構図に気をつけながら作業する。
- 評価のスケジュール 第8回と第15回に作品講評と採点。
- 授業時間外学習 授業内の作品制作の遅れは自宅課題として補うこと。
- 第5回授業概要 卵を描く(第4回から7回まで)。特に形、陰影に気をつけながら作業する。
- 評価のスケジュール 第8回と第15回に作品講評と採点。
- 授業時間外学習 授業内の作品制作の遅れは自宅課題として補うこと。
- 第6回授業概要 卵を描く(第4回から7回まで)。特に形、陰影、質感、量感、空間感を意識する。
- 評価のスケジュール 第8回と第15回に作品講評と採点。
- 授業時間外学習 授業内の作品制作の遅れは自宅課題として補うこと。
- 第7回授業概要 卵を描く(第4回から7回まで)。特に形、陰影、質感、量感、空間感に気をつけながら作業し、作品を完成させる。
- 評価のスケジュール 第8回と第15回に作品講評と採点。
- 授業時間外学習 授業内の作品制作の遅れは自宅課題として補うこと。
- 第8回授業概要 グラデーション作品と卵のデッサン作品の講評と採点。
- 評価のスケジュール 第8回と第15回に作品講評と採点。
- 授業時間外学習 授業内の作品制作の遅れは自宅課題として補うこと。
- 第9回授業概要 巨匠が描いた素描の模写(9回から11回まで)。トーン分解し、トレースを行なう。
- 評価のスケジュール 第15回に作品講評と採点。
- 授業時間外学習 授業内の作品制作の遅れは自宅課題として補うこと。
- 第10回授業概要 巨匠が描いた素描の模写(9回から11回まで)。模写作業を行う。
- 評価のスケジュール 第15回に作品講評と採点。
- 授業時間外学習 授業内の作品制作の遅れは自宅課題として補うこと。
- 第11回授業概要 巨匠が描いた素描の模写(9回から11回まで)。模写作品を完成させる。
- 評価のスケジュール 第15回に作品講評と採点。
- 授業時間外学習 授業内の作品制作の遅れは自宅課題として補うこと。
- 第12回授業概要 巨匠が描いた素描の模写。鉛筆で陰影を丁寧に描いてゆく。
- 評価のスケジュール 第15回に作品講評と採点。
- 授業時間外学習 授業内の作品制作の遅れは自宅課題として補うこと。
- 第13回授業概要 顔の部分または手を描く(第13回から14回まで)。特に構図に気をつけながら作業する。
- 評価のスケジュール 第15回に作品講評と採点。
- 授業時間外学習 授業内の作品制作の遅れは自宅課題として補うこと。

○第14回授業概要 顔の部分または手を描く（第13回から14回まで）。特に形、陰影、質感、量感、空間感に気をつけながら作業し、作品を完成させる。

評価のスケジュール 第15回に作品講評と採点。

授業時間外学習 授業内の作品制作の遅れは自宅課題として補うこと。

○第15回授業概要 模写作品と人体部分デッサン作品の講評と採点。

評価のスケジュール 第8回と第15回に作品講評と採点。

授業時間外学習 授業内の作品制作の遅れは自宅課題として補うこと。

2. 4つの課題(作品)

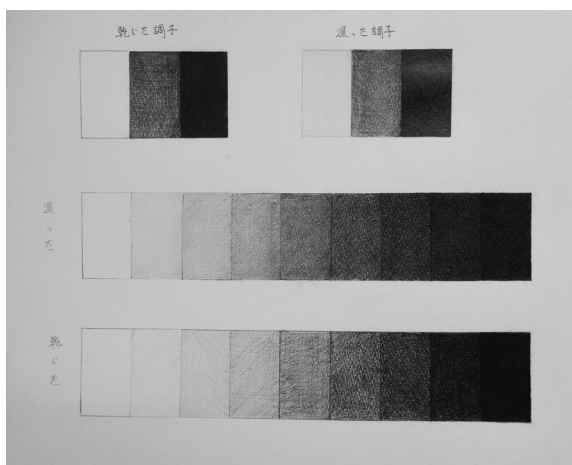


図1) 学生作品「グラデーション」

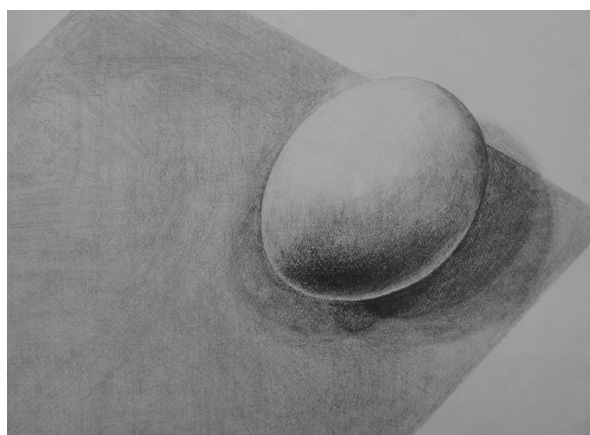


図2) 学生作品「卵を描く」

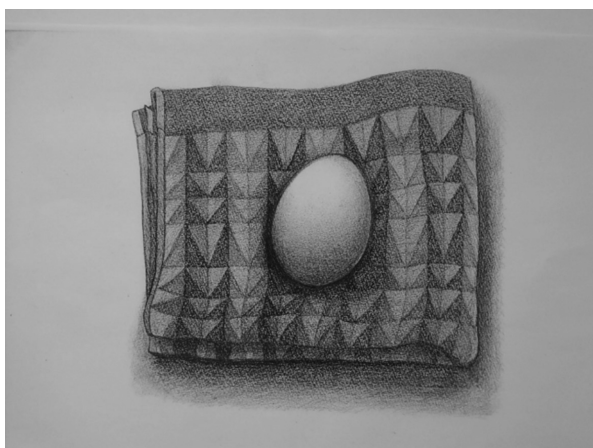


図3) 学生作品「卵を描く」

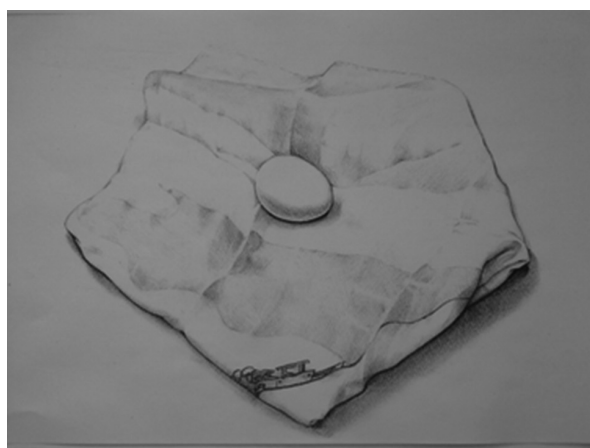


図4) 学生作品「卵を描く」



図5) 学生作品「巨匠作品の模写」



図6) 学生作品「巨匠作品の模写」



図7) 学生作品「巨匠作品の模写」



図8) 学生作品「巨匠作品の模写」

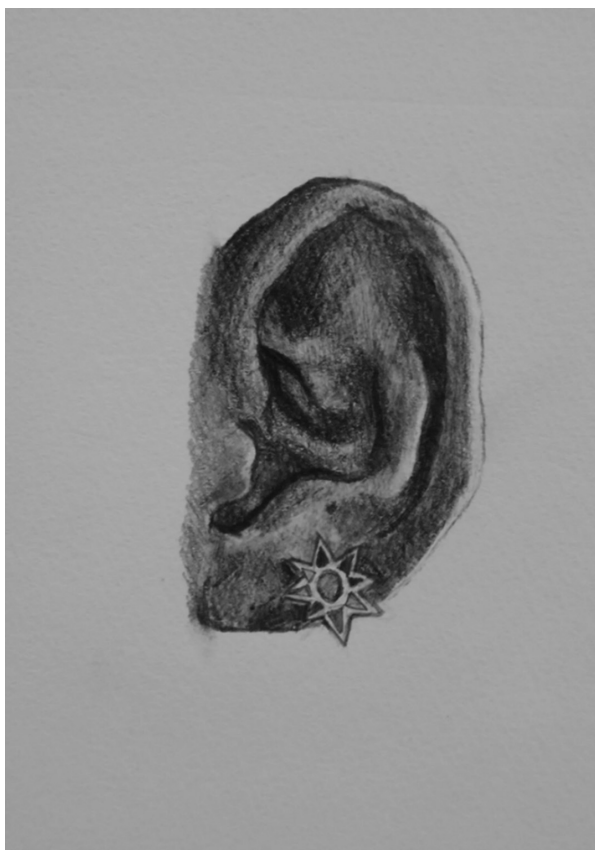


図9) 学生作品「人体の一部を描く」



図10) 学生作品「人体の一部を描く」



図11) 学生作品「人体の一部を描く」



図12) 学生作品「人体の一部を描く」